

地域少子化対策検証プロジェクト

「江戸川区の子育て施策」

平成27年10月22日

江戸川区 副区長 原野 哲也

さわやか体育祭(三世代の交流)

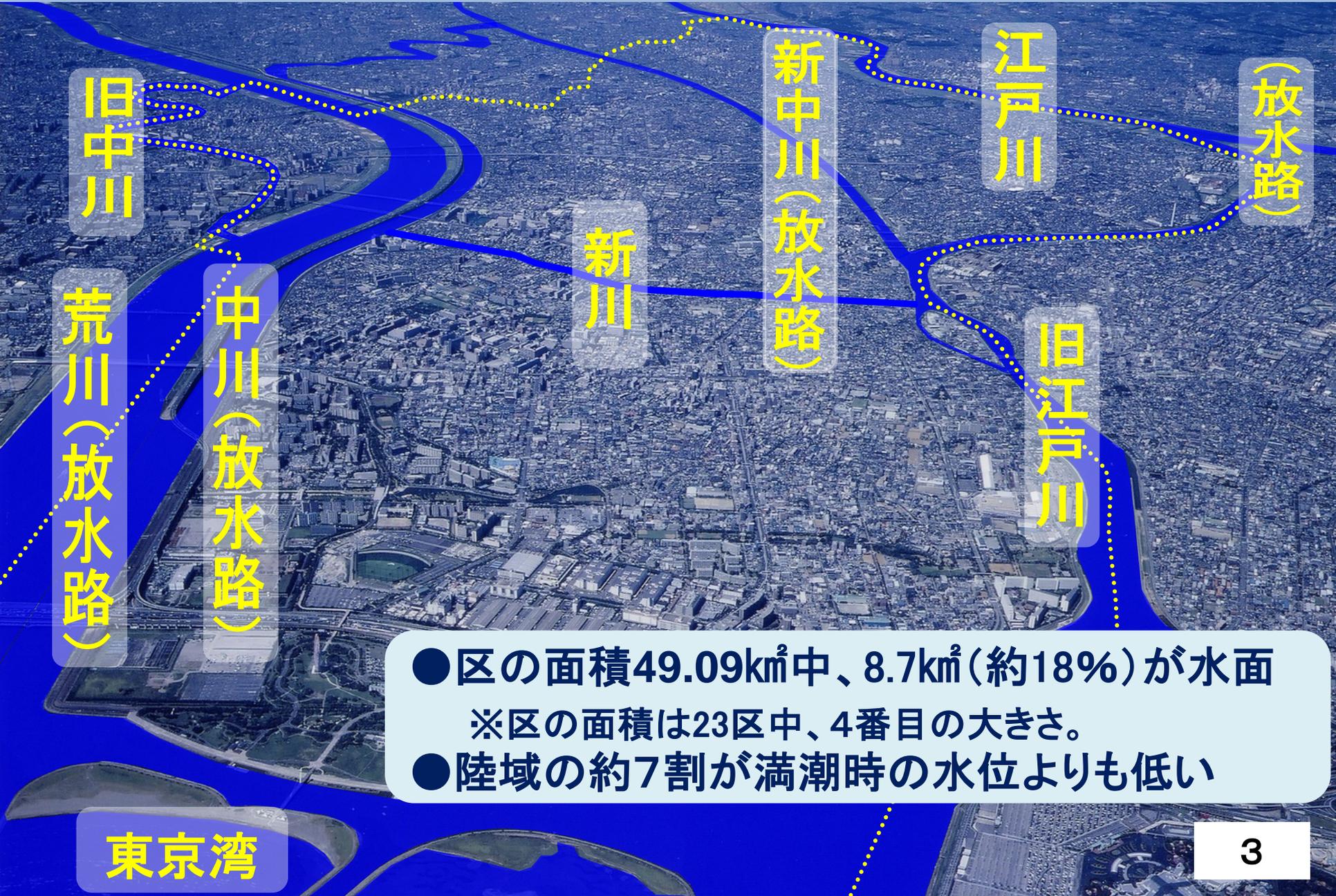
※本日、開催中。

三世代(園児・園児の保護者・熟年者)・8,000人が参加



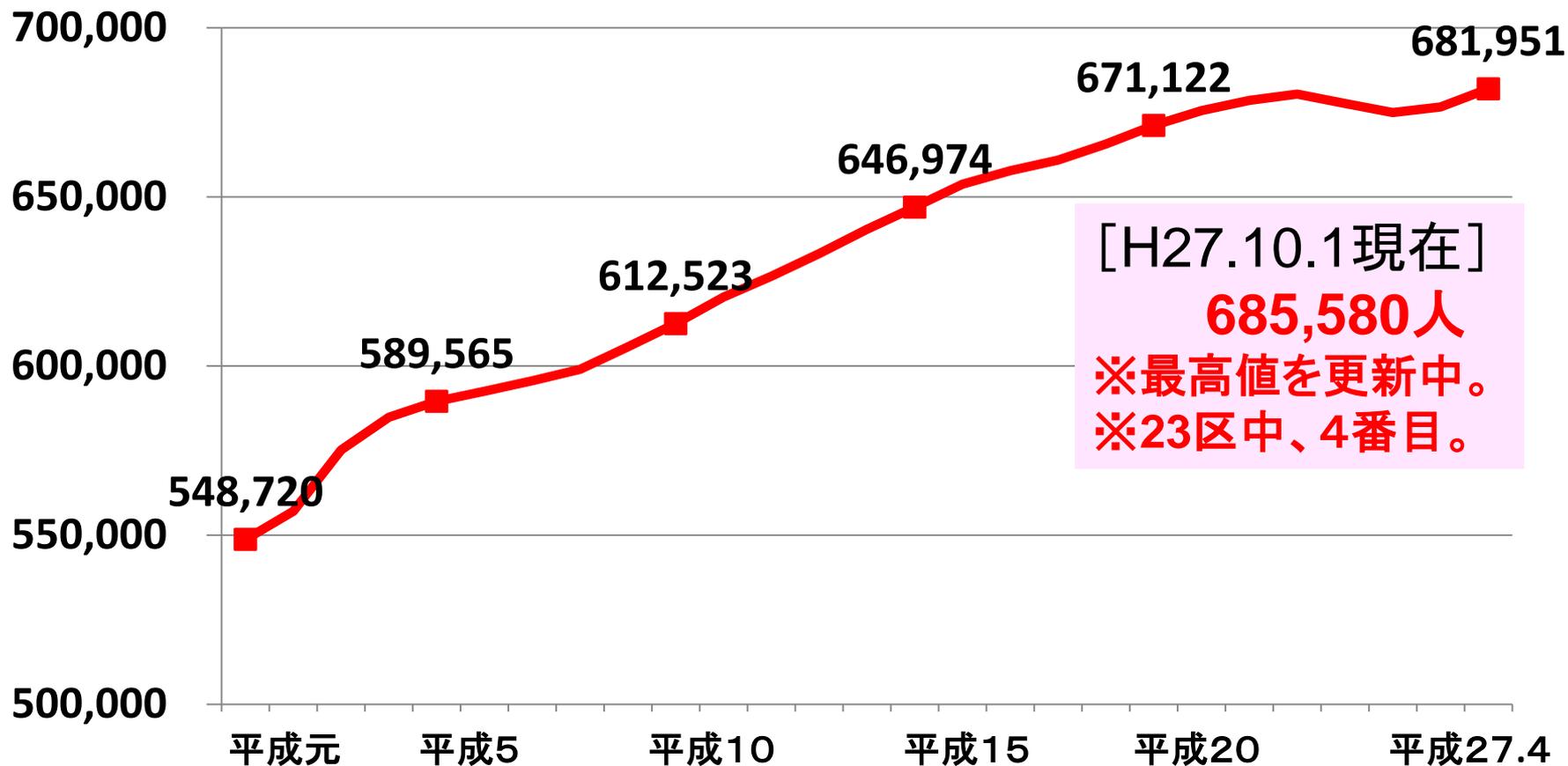
I 江戸川区の地勢と人口

江戸川区の地理的特性



- 区の面積49.09km²中、8.7km²(約18%)が水面
※区の面積は23区中、4番目の大きさ。
- 陸域の約7割が満潮時の水位よりも低い

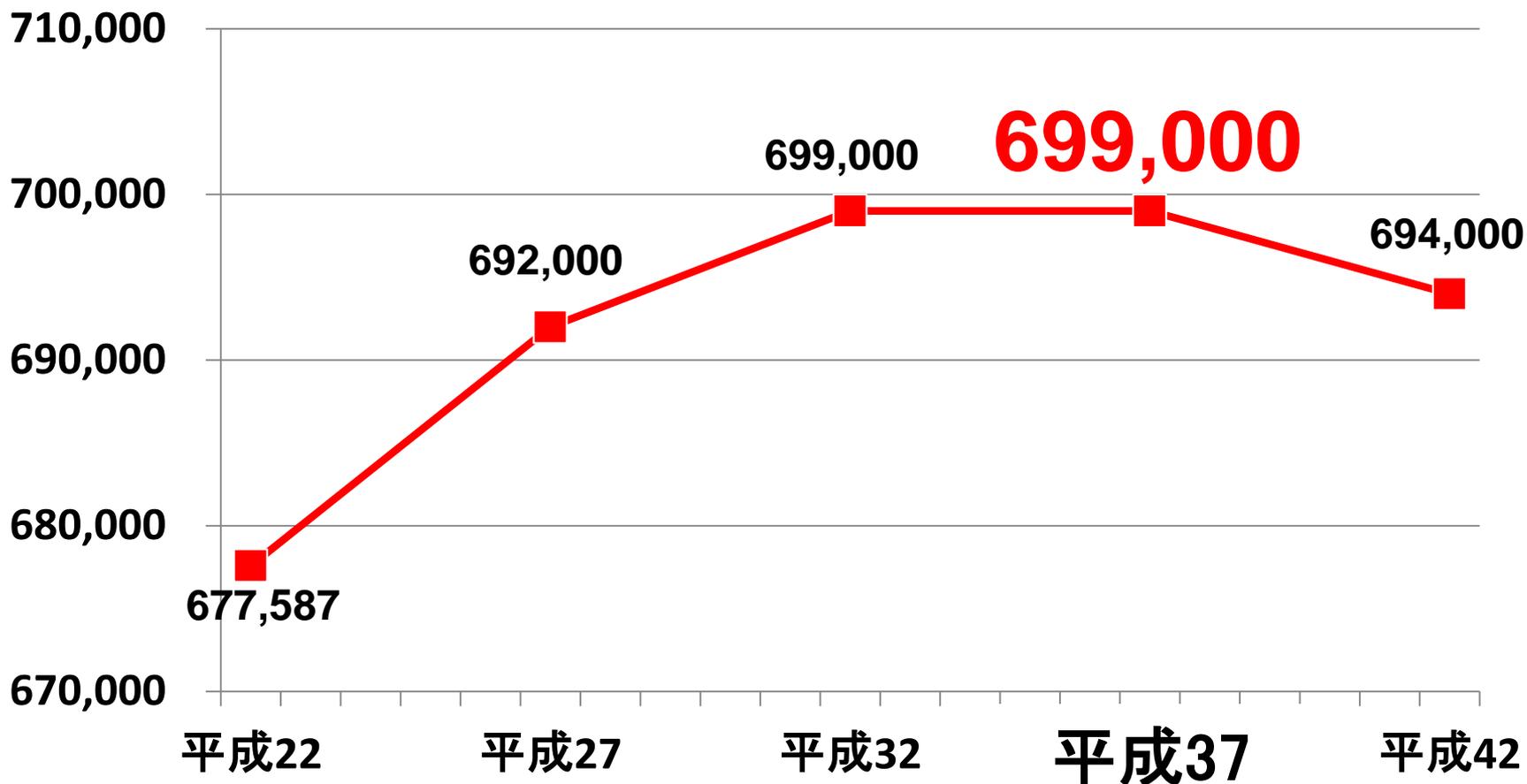
江戸川区の人口推移(総人口)



※平成元年及び2年は、外国人登録を含まない数。

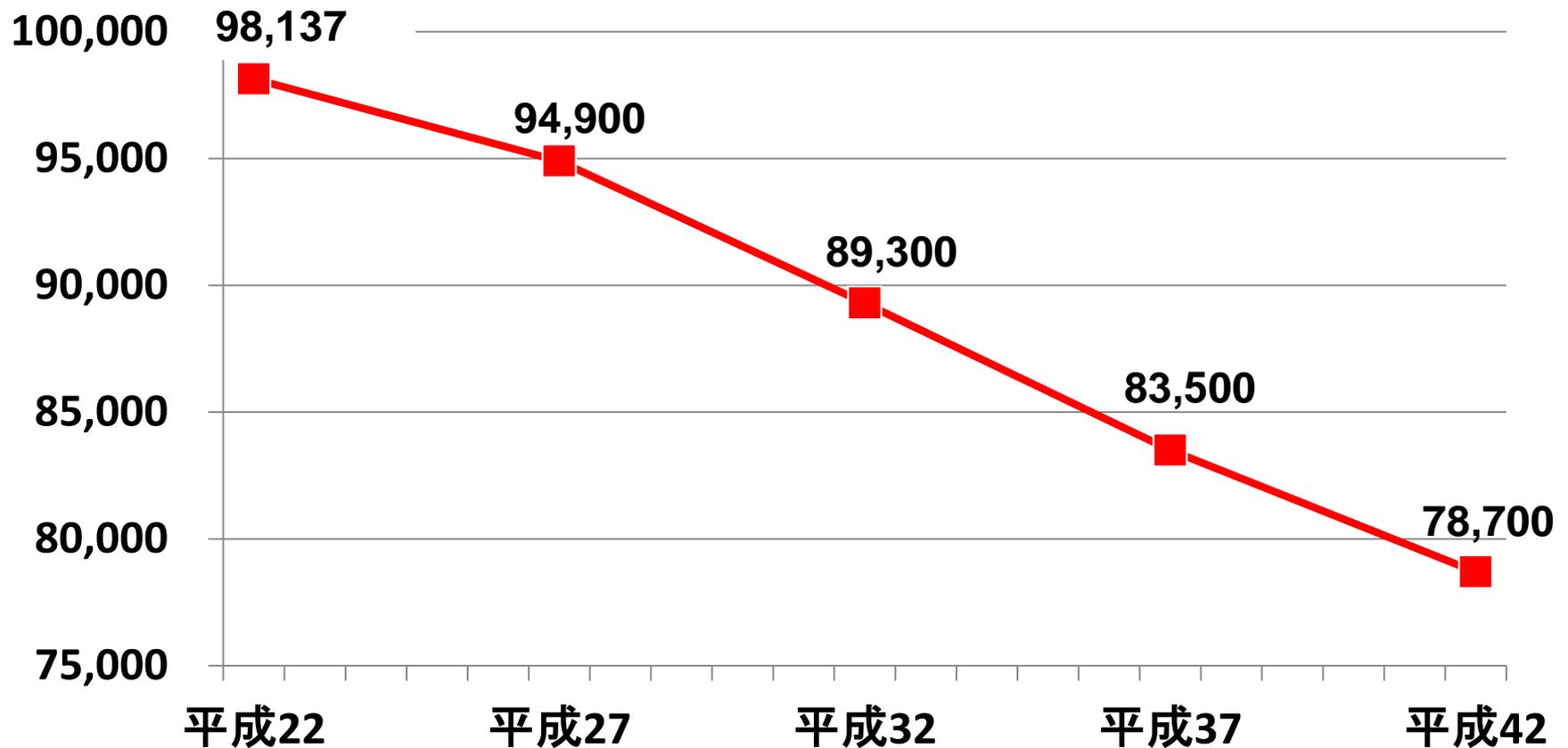
江戸川区の人口推計(総人口)

➤ 平成37年の699,000人をピークに減少する



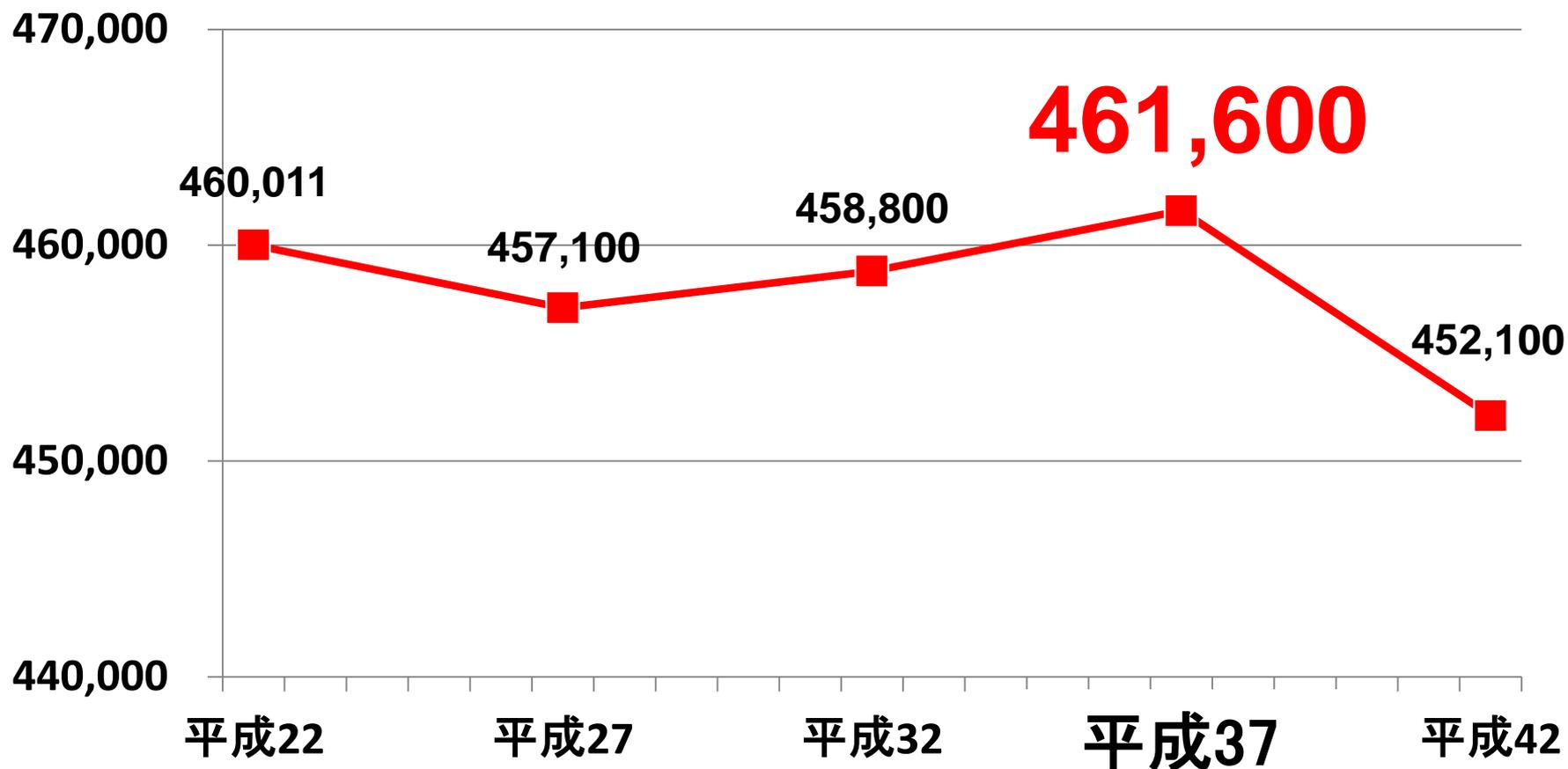
①年少人口(0~14歳)

➤平成42年までに**約2万人(2割)**減少する



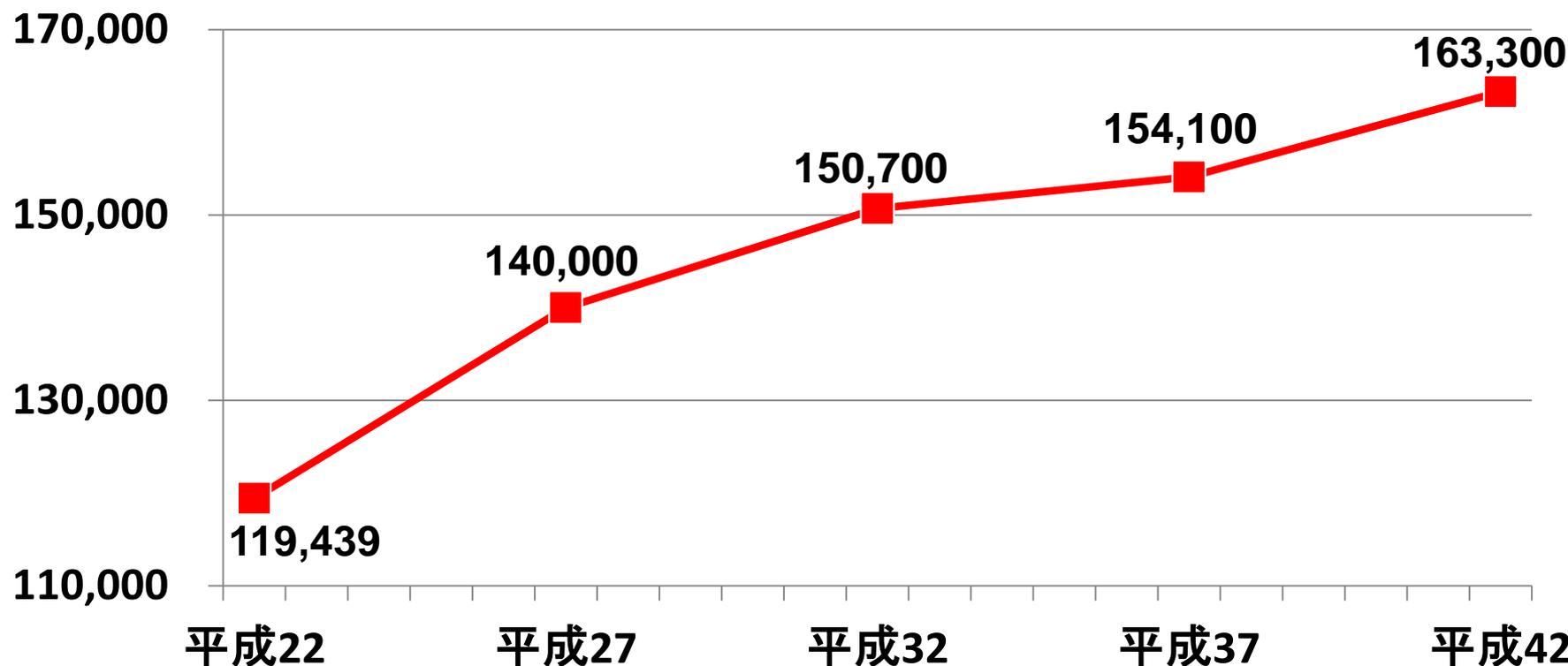
②生産年齢人口（15～64歳）

➤横ばいで推移。平成37年以降、減少



③高齡人口(65歳以上)

➤平成42年までに約4万4,000人(4割)増加し、
高齡化率は23.5%となる



平均年齢(23区別)

| No(低い順) | 区名 | 平均年齢(歳) | H27.1.1 |
|----------|-------------|---------|--------------|
| 1 | 中央区 | | 42.24 |
| 2 | 港区 | | 42.71 |
| 3 | 江戸川区 | | 42.83 |
| ⋮ | | | |
| 21 | 葛飾区 | | 45.43 |
| 22 | 台東区 | | 46.11 |
| 23 | 北区 | | 46.23 |

年少人口率(0~14歳・23区別)

| No(高い順) | 区名 | 年少人口率(%) H27.1.1 |
|---------|------|------------------|
| 1 | 江戸川区 | 13.73 |
| 2 | 江東区 | 12.66 |
| 3 | 練馬区 | 12.38 |
| ⋮ | | |
| 21 | 豊島区 | 8.67 |
| 22 | 中野区 | 8.63 |
| 23 | 新宿区 | 8.57 |

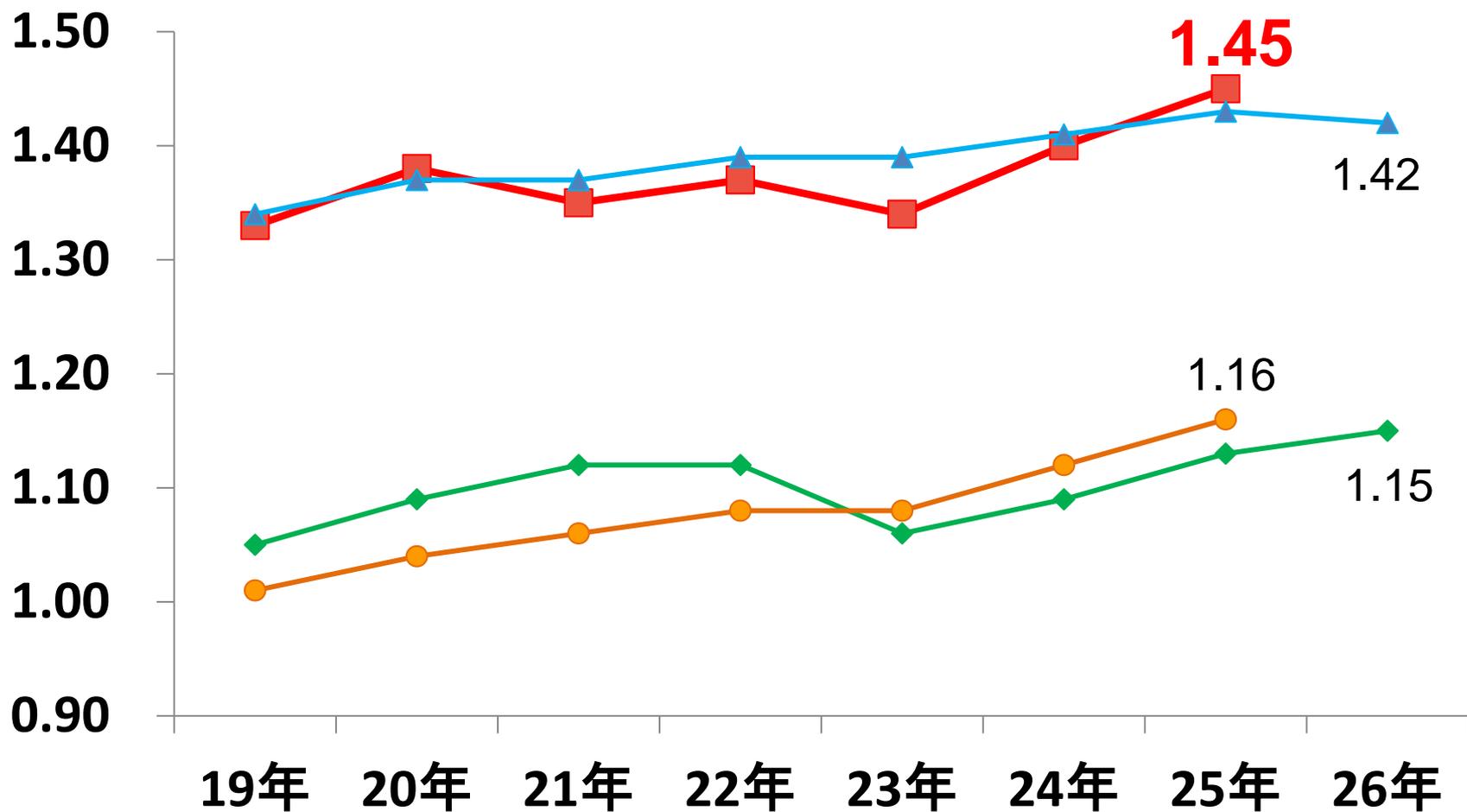
合計特殊出生率(23区別)

➤ 都が公表を開始して以降、**21年連続トップ**

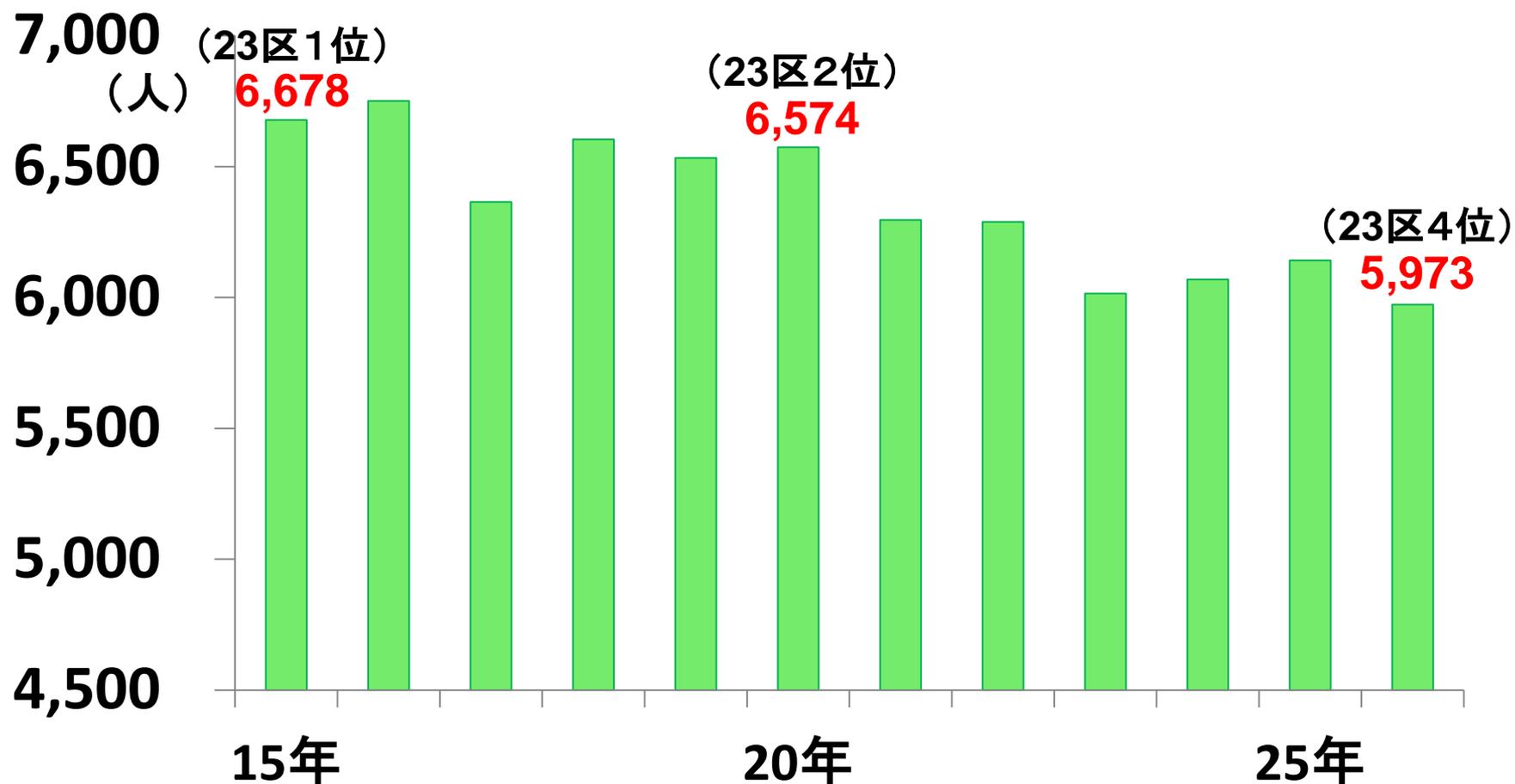
| No(高い順) | 区名 | 合計特殊出生率 H25 |
|----------|-------------|-------------|
| 1 | 江戸川区 | 1.45 |
| 2 | 足立区・葛飾区 | 1.36 |
| 4 | 江東区 | 1.33 |
| ⋮ | | |
| 21 | 杉並区 | 0.95 |
| 22 | 目黒区 | 0.94 |
| 23 | 中野区 | 0.93 |

合計特殊出生率の推移 (H19~H26)

■江戸川区 ▲全国 ◆東京都 ●23区



出生数の推移 (H15～H26)



Ⅱ 子育てしやすいまち 江戸川区

「江戸川区のふしぎ」

朝日新聞社説(平成17年5月15日付)

◆記事の概要◆

- ・“東京”の合計特殊出生率は1.0を割り込んでいる
- ・23区の中で唯一、全国平均(1.29)を上回るのが江戸川区(1.30)
- ・江戸川区には年37,000人の転入があるが、その大半が20代と30代

・子育て世代をひきつける要素

- 私立幼稚園保護者負担軽減補助
- 子どもの医療費(小学校入学前)を、23区で最も早く無料化
- 学校給食費保護者負担軽減
- 都心に近い割には地価が安い
- 大河川に囲まれ、水辺豊かな環境
- ゼロ歳児は、家庭か保育ママで養育
- 若い世代が多いと区税収入は少ないが、それを補う“住民の力”
 - …すくすくスクール
 - …生きがい施策充実による元気な高齢者(知恵や経験を地域で活かす)

[結論] 江戸川区には住民が助け合い、関わり合う仕組みがある

交通の利便性が高い江戸川区



※カッコ内は開業年。

緑化の推進と公園整備

総樹木数

(平成27年4月現在)

- ・約**638**万本
- ・区民一人あたり **9.4**本

《参考》

昭和47年の調査では
総樹木数 約119万本
区民一人あたり **2.6**本



公園整備

(平成27年4月現在)

・公園数 **476園**

※葛西海浜公園を含む。

・面積 **360万 m^2**

※葛西海浜公園を除く。

・区民1人あたり
約**5.28 m^2**

※葛西海浜公園を除く。

・アダプト活動 (区民と区の協働による公園維持・環境美化活動)

➤公園ボランティア **4,415人** (222団体・133個人)



親水公園 ～ 全国初の取り組み ～

➤ 下水道整備により役割を終えた河川を、**水と緑豊かな親水公園に再整備**



- ・親水公園 5公園 総延長 9,610m
- ・親水緑道 18路線 総延長 17,680m

若い世代が多い江戸川区

転入の状況

総数 31,875人(平成26年中)

うち、30歳代以下 24,743人 **78%**

40歳代以下 28,532人 **90%**



子どもたちの盛んな活動

- ・少年野球 77チーム 1,600人
(グラウンド90面のうち、少年用49面)
- ・少年サッカー 33チーム 3,300人
(グラウンド12面のうち、少年用3面)
- ・子ども会 111団体 7,619人
(昭和54年の268団体・38,800人がピーク) **20**

文化・スポーツ施設の充実

●文化施設

タワーホール船堀、総合文化センター、グリーンパレス、篠崎文化プラザ 等

●地域施設

区民館(5)、コミュニティ会館(22)、勤労福祉会館(1)

●スポーツ施設

スポーツセンター、総合体育館、スポーツランド、水辺のスポーツガーデン、陸上競技場、球場、臨海球技場、グラウンド、テニスコート 等

“職住近接のまち”江戸川区

・区内事業所数 **21,301事業所**

・就業者数 170,267人 ※うち、区民：**106,160人(62%)**

➤ **区の施設は、区内で働く従業員の福利厚生施設としての役割も担う**

Ⅲ 特色ある

“子育て施策”

～地域力で子育て～

保育ママ事業（昭和44年創設）

➤ 保護者の就労や病気などの理由で、家庭での養育が困難な0歳児のお子さんを、保護者に代わって家庭的な愛情と環境のもとで預かり、健全な育成を図る事業

- 保育ママ 202人
 - 受託児 364人
- （平成26年度末）



- 基本保育料 月額14,000円
- 雑費 月額 3,000円

乳児養育手当(昭和44年創設)

● 目的

0歳児を家庭で保育する方への経済的支援
➤江戸川区独自の制度

● 手当額

月額13,000円
(児童手当の所得制限に準拠
→90%が受給)

● 予算額

9億808万円(平成27年度)



私立幼稚園保護者負担軽減補助

●背景

本区幼児教育の大半は私学が担う
(私立39園、区立3園)

●目的

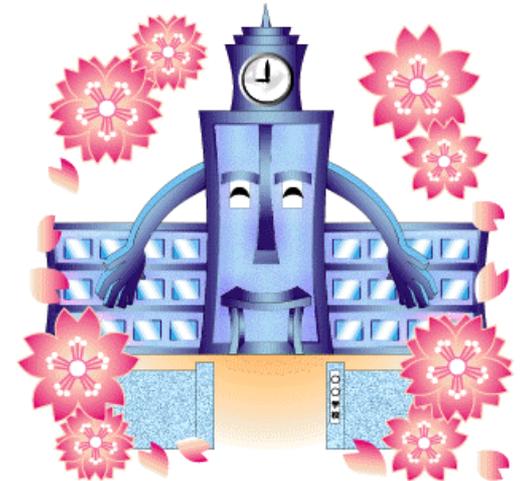
区立幼稚園保育料(月額3,000円)
との格差是正

●補助額

◆月額保育料 26,000円上限(23区平均 8,900円)
◆入園料 80,000円 (23区平均 51,000円)

●予算額

24億9,669万円(平成27年度)



すくすくスクール事業

● 事業概要 (H17年度から全73の小学校で実施)

放課後健全育成と学童クラブ事業の合体

- ◆ 学年に関係なく、希望者全員を受け入れ→待機児童の解消
- ◆ 既存の学校施設の有効活用
- ◆ 学校施設を活用するため、学童クラブ以外の仲間とも遊ぶことができる



[登録児童] 全児童数35,679人(H27.3)のうち、**23,713人(66.5%)**がすくすく登録
[視察実績] **444件・2,692人**(H26年度末)
[ボランティア数] **延べ18,000人/年**

[すくすく登録]

- ◆ 育成料 無料(保険料500円)
- ◆ 運営日・時間
日曜・祝日を除く毎日 放課後～17時
土曜・学校休業日 9時～17時

[学童登録]

- ◆ 対象 保護者の就労等がある児童
- ◆ 育成料 月額4,000円
- ◆ 参加時間
平日18時まで延長可

特色ある活動①

◆ スポーツ活動 ◆

地域の協力と学校施設の有効活用によって、学校ごとに特色ある活動が行われています



学校プールでのカヌー体験



校庭でのサッカー大会



体育館でのユニホック教室

特色ある活動②

◆ 文化活動 ◆

地域の方々の協力により、多種多様な文化活動が行われています



日本舞踊



茶道教室



将棋教室

チャレンジ・ザ・ドリーム

中学生の職場体験

事業概要 (H17年度から実施)

● **対象**

区立中学校2年生

[参加数: 5,367人(H26)]

● **実施日数**

連続した5日間

● **主な体験先**

販売業、保育園・幼稚園、
製造業、農業 等

[協力事業所: 1,777(H26)]



世界へはばたく「青少年の翼」

- 基金を活用した海外派遣事業 -

事業概要 (H15年度から実施)

- 累計参加者数 1,015人
(H27年度まで)
- 派遣先(H27年度実績)
 - ・アメリカ(シャーウッド市周辺)
 - ・イギリス(タビストック町周辺)
 - ・オーストラリア(ゴスフォード市)
 - ・カナダ(バンクーバー島周辺)
 - ・ニュージーランド(ホキティカ町)
- 体験内容
学校体験、ボランティア活動、キャンプ体験 等



子育て施策における今後の課題

- 少子化への対応
- 子ども・子育て支援新制度への対応
- 待機児童の解消
- ワーク・ライフ・バランスの推進
(江戸川区 仕事と生活の調和推進宣言 平成22年3月)
- 児童虐待への対応
- 発達障害児支援
- 子どもの貧困対策



ワーク・ライフ・バランスへの 区の取組み

「ワーク・ライフ・バランス推進宣言」

(平成22年3月)

生きる喜びを実感できる都市の実現
に向けて、仕事と生活の調和を推進
する地域社会を目標に努力を重ねる
ことを宣言する。

➤本区を含め、鳥取市・北九州市・京都市・福岡市・呉市・三鷹市が宣言

ワーク・ライフ・バランス 導入による効果

ノー残業デー、育児休業制度、育児短時間勤務、
事業所内保育所 など

- ◆ 働きやすい会社としてイメージアップ
- ◆ 従業員のやる気・健康度が向上
- ◆ 優秀な人材の確保・定着
- ◆ 仕事の効率化



ワーク・ライフ・バランス 推進企業への支援策

推進企業の表彰【江戸川区産業賞】

平成23～26年度の間、5企業を表彰

設備資金融資（区あっせん融資利子優遇 限度額：8,000万円）

事業所内保育施設の設置や妊婦用休憩室の整備等

運転資金融資（区あっせん融資利子優遇 限度額：1,000万円）

中小企業相談室での各種相談

労務管理や社会保険に関する相談等

事業所内保育施設への整備補助（限度額：3,000万円）

従業員の子どもと地域の子どもを一緒に保育する場合は対象